

富士見市公民館運営審議会議事録

開催日時	平成26年12月10日(水)午後7時00分～9時00分
会場	南畑公民館 会議室
出席者	世羅陽一郎 瀬戸篤 山川亜紀子 田中聰行 秋元富美子 吉川英亨 中正美 高橋康子 是永国彦 山本百合子 川端正則 関根健一 平井光夫 本田和子 尾形忠男 浅見隆志 (以上16人) 鶴瀬公民館長 南畑公民館長 水谷公民館長 水谷東公民館長 鶴瀬公民館担当 (合計21人)
欠席者	なし
会議次第	別紙のとおり
会議資料	別紙のとおり
会議録確認	世羅陽一郎 委員
公開・非公開	公開(傍聴人0人)
会議内容	
<p>議長あいさつ</p> <p>事務局より水谷東公民館区戸川榮一委員の辞任と本田和子氏の委嘱について報告。</p> <p>1. 研修 南畑公民館の施設改修について 平成25年度に南畑公民館は耐震補強・エレベーター設置工事により施設がリニューアルされたので、南畑公民館長より施設見学と工事概要の説明。</p> <p>2. 報告事項 (1) 平成27年度予算要求状況について(各館長) 館長 各公民館長により平成27年度予算要求状況について説明。</p> <p>(2) 各地区公運審会議報告について(各地区公運審地域議長) 鶴瀬地区 鶴瀬公民館の施設維持管理やまちづくり協議会の進捗状況、鶴瀬校区ごと町会を中心に町会長、民生委員を合せて審議する動きです。事業評価については、27項目あるので運営委員4人で分担した。まだ実施されていない事業もあるなるべく参加するようにする。その他の意見として公民館には案内人はいるのか、キャリアデザインの資質のある方はいるのかとの質問があった。専門職の方がいないことは課題なのかと思う。公民館には異動等により専門の人材が不足していると思われるが、市民の協力を得ながら我々もバックアップしていく必要性について協議した。</p> <p>水谷地区 水谷公民館は、今月18日に開催予定となっているので、次回まとめて報告する。</p> <p>南畑地区 南畑公民館は、地区会議で利用状況を確認している。公民館事業の展望については予算、職員の関係によりなかなか発展的な活動が難しい。いかに公民館活動を充実させるか、主催事業から後援事業に移行するための草案、手だてを考えていく必要であるとの話をした。もう一つは小講座の見直しで、現在のところ充実はしているが、年月が経っていくと新しいものやニーズに合</p>	

うものに見直す必要が生じるとの点で話合いが出来た。また、青空市場という大きな事業があり、その間に会議も催した。地区公運審として、今後の事業についても全力で応援する旨の話合いが出来た。

水谷東地区 水谷東公民館は、昨年11月より今年の6月までの耐震補強及びエレベーター設置工事によりリニューアルした。内装が新調されたことにより従来の展示物などの掲示場所について変更を行い、要綱を整備して12月1日より展示利用を開始した。

(3) その他

館長 項目は出していないが報告する。

① 議会での公民館関連の一般質問では、平和事業の取組みについて質問があった。来年戦後70年、被ばく70年の年で事業をどう展開するのかの質問について、公民館としては、これまでも事業を行っているが戦争体験の話が出来る方が減りつつあるので、平和の尊さなどを伝えていけるように戦争体験話者の話などを記録化することに力をいれていくことを答弁している。

② 地域団体の方からの要望では、各公民館のイスを軽量化してほしいとの要望が出されているので、順次買替えも含め検討していくと答えている。
コピー代の問題で、公的施設が1枚10円であるが近くの店では5円なので、同値に出来ないかの質問に賃貸借等の契約により簡単にはいかないのではと検討していくと話をしている。

③ 市全体の問題でもあるが事業の実施にあたり、委託事業、補助事業、直接の公民館事業がある。

鶴瀬公民館だと、子どもフェスティバル、市民大学などは委託事業で市の方で仕様書を作りそれを基に委託先の実行委員会、NPO法人が事業を実施している。職員が必要以上に関わっている実情について、整理をするように求められている。

議長 交流センターで、印刷機を使うと2枚でも200枚でも50円で済むが公民館でも条件は一緒か。

館長 公民館でも印刷機の利用実施要項があるので、同じように全ての公民館で利用できる。製版は1枚50円で、原則印刷用紙は持込みである。

委員 議会の一般質問で、平和学習会の話があったと聞くが。

館長 平和学習会は6月議会で伊勢田議員より、今年3月に鶴瀬公民館で行われた学習会について質問が出されている。

3. 協議事項

(1) これからの公民館（事業）の課題について

館長 前回の会議でみなさんから出してもらった意見を課題としてまとめてみた。今回、全てをこの場で協議することはないが、事業評価の関係について公民館ごとに状況が違うので富士見の公民館の冊子を制作する際に、各館で事業報告兼事業評価を書いてもらうが、各館で統一されていなかったため、各館の館長が集まり相談した経緯がある。それを含め直した部分もあるので、ご意見がほしい。

鶴瀬公民館は、事業数が多いので、各事業を委員に振分け評価をお願いしている。水谷東公民館は、全部の事業を全員で見て、意見を書いてもらう事業の評価をしている。水谷公民館や南畑公民館もそれぞれ若干違う。各公民館で評価の仕方があり、

特に全館統一的な評価をするとは考えていない。各館、今まで通りで良いと思うが、意見があれば出してほしい。事業評価欄に総合評価もあるが、前の会議で誰が評価しているのかとの質問があったが、事業評価でいうと各館長が書いても良いと思うが、総合評価の中身については、今後の取り組み方針や方向性が書いてあるので、全体を通して委員とか利用者の意見を踏まえてとなる。内容は良いが項目名として、総合評価という記載はないほうが良いと考える。

委員 話の中で成果と課題について触れているが、成果はだれが書きどういう事を書くのか。また、課題はだれがどう評価するのか課題については次年度にどう反映していくのかというようになっていけば良いが、そういう評価の仕方になっているのかははっきりしない。事業評価を読んでみると、課題の方が全てぼやけてしまっている。事業を行い、成果の内容を良く理解せずに課題が出てくることがある。それが評価のシステムなのかルールなのかどうもハッキリしないので、その点が気になる。総合評価は、今の話で分かったが翌年に反映させていない評価の仕組みについて、整理したほうが良いと思う。

館長 これまでのやり方として事業内容部分では、各公民館で事業を行う場合、予め目的を定めてこういう内容で行ったと表記している。委員から見ると理解しにくい部分があるので、書き方について少し整理したい。これから意見交換や内容の指摘があると思われるので、それに基づき、成果があったかを職員が書き、その中で自ら行ってきた事業の課題が見つければ書くというのが一つの流れだと思う。課題をどう生かすか毎年3月末までには書き上げていくので、翌年に同じ事業をやるのであれば毎年発行するので、前年と比較していかなければならない。この課題を解決する方法を当然とっていく。例だが、市民生活講座というものがあるが、何をやるかは決まっていなかった。今年は、初心者向けのタブレット講座、スマホの講座、親子うどん作り講座、そば打ち講座とアンバランスではあるが実施している。この後、目的があった訳なので、成果と課題を出していきたいと考える。これが翌年につなげていくということである。

議長 課題なので、次年度に反映できるものでないとまずいと思う。

館長 表記上、少し甘いと思うところがあるかもしれない。

議長 できれば評価するにも意見の中にも、こういう課題がありますと明記するとよい。

委員 これを職員がまとめるとなると負担が非常に大きい。本来であれば委員がその中の事業内容を個々に委員も含めて回答を得てそれをまとめるなら分かりやすい。そういうルールが必要なのでそこを含めて見直すのがよい。

委員 成果が気になるが、成果がどれだけ出来たか、だれが見ても分かるようなものが成果であり、一般社会では数値化がほとんどで言葉でなく数値で表わす。

(2) 公民館全市事業の取り組みについて

下記について鶴瀬公民館長より資料に基づき説明。

1 子どもフェスティバル 2015 について

2 地域自治シンポジウム 2014 に向けて

3 平和憲法啓発事業について

議長 説明された3つの大きな全市事業について何か質問はあるか。

委員 水谷小学校では3名の戦争体験話者を迎え、3クラスにて戦争体験の話をしてもらった。子供たちは生の声を真剣に聞き入っていた。とても良い経験をしていると思っている。

議長 提案についてあるか。

委員 地域自治シンポジウムも含め聞きたい、それぞれに実行委員会があるが実行委員は、どの様な方々が選ばれているのか。

館長 子どもフェスティバルは、基本3団体（PTA連合会、子ども会育成会連合会、放課後児童クラブ保護者連絡会）の他、参加団体が50を超えているが、参加されている全ての団体が実行委員となる。地域自治シンポジウムについては、今年で29回目となるので、公民館ごとに呼びかけをし、興味をもってもらえる方に実行委員になっていただく。

また、ピースフェスティバルは平和に関連し、組織上は市民のだれでも入れる団体という形をとっている。

議長 子どもフェスティバルには育成会も参加していると思うが。

館長 参加してもらっている。

館長 子どもフェスティバルだが、今年4月5日に開催する。実行委員より他の公民館区での開催要望も出ている。

館長 地域自治シンポジウムについて、先ほど説明があったが、補足をさせてもらいたい。もともと行政による横断的な取組みを大事にしながら市民と一緒に学習していこうという目標を立て、何十年もやってきている。分科会という形で福祉や健康、子育てなどを地域、公民館関連について分科会で取組み、市民と行政が一体となり学習をしてきた経緯がある。

(3) その他

下記資料について説明。

① 生涯学習ガイドブック

② 図書館要覧

議長 以上で会議を終了する。

次回会議日程 2月25日（水）19時から 鶴瀬公民館 いきいき活動室

閉会

